

## 式 辞

桃の節句を明日に控え、日差しのうららかに春の到来の喜びを感じるこの良き日に、墨田区長山崎 昇様、区議会議長出羽邦夫様、教育委員長横井利夫様をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席のもと、墨田区立向島中学校閉校式典を挙行出来ますことを光栄に存じます。

さて、本校は、昭和二十二年（一九四七年）三月三十一日東京都墨田区立寺島第二中学校として認可され、現在の第二寺島小学校で同年五月十日に開校式・入学式を行い、その産声をあげたと学校沿革史に記載があります。そして、昭和二十四年隅田第二中学校との統廃合により校名変更を行い、現在の墨田区立向島中学校という名称になりました。以来六十四年にわたって、たくさんの方々の保護者や地域の方々から愛され、親しまれ、支えられながら歴史と伝統を築き、今年度の三年生一二一名を含め、一二、四九三名にも及ぶ卒業生を輩出してきました。開校時は、第二寺島小学校の間借り校舎での授業から昭和二十五年七月十六日に現在の地に木造二階建ての校舎が完成し、間借り生活を終えましたが、設備の充実や教育の

環境整備までは、手の届かない状況が続いたそうです。その後、歴代校長並びに教職員の熱意と努力、そしてPTAや地域の方々の温かいご支援やご協力により現在のような歴史と伝統に輝く向島中学校となりました。開校以来六十四年の歴史の中には、墨田区立中学校連合陸上大会では、昭和四十六年から総合十三連覇や墨田区駅伝大会では、十六年連続優勝などの輝かしい記録も打ち立てました。また、東京都や墨田区の研究指定校を受け、学習指導や生活指導に関する研究を行い、全国に発信してきました。さらには、本校の特色として併設する難聴通級学級への生徒理解や「はーとふる学習」と題しての人權教育や心の教育も充実させてきました。

しかしながら、長年にわたり地域の中学校として親しまれ、たくさんの生徒の教育に携わってきた本校にも少子化による時代の流れが押し寄せてきました。昭和三十七年度には、一、二八三名いた生徒数も年々減少し、平成十九年度には一八三名を数えるに至りました。その後、平成二十年三月に策定された「新たな墨田区立学校適正配置等実施計画」に基づき、平成二十五年度より鐘淵中

学校と統合することが決定しました。平成二十一年度には、開校六十周年記念式典を実施し、歴史と伝統の重さを感じながらたくさんの方々に祝福していただきましたが、その三年後に閉校という局面を迎えることは痛恨の極みであります。この統合が合意に至るまでには紆余曲折がありました。この統合が合意に至るまでには紆余曲折がありました。統合新校に向けてたくさんの方々の期待が込められており、墨田区教育委員会や地域の関係者のご協力により、閉校ならびに新校開校に向けての準備が進められ、本日の閉校式を迎えることができました。

六十四年の歴史をもつ本校は、親子三代に渡って地域の学校としてたくさんの方々に見守り支えられてきました。PTAは、歴代三十七名の会長のもと、常に生徒のことを第一に考え、好意的に活動し、多大なる貢献をしてくれました。また、各町会、百花の会、同窓会、青少年育成委員会等の方々が温かく本校を見守り、地域の子どもたちの健全育成にご尽力いただきました。

今年度をもって親しまれてきた向島中学校の名称はなくなり、たくさんの方々に惜しまれながら閉校いたしますが、本校を巣立っていったたくさんの方々の卒業生や多くの

関係者の心の中にはいつまでも良き思い出として生き続けることと思います。

平成二十五年四月に開校する統合新校「桜堤中学校」は、向島中と鐘淵中両校の良き伝統を踏襲し、地域の学校として特色ある学校づくりを進め、新たな歴史と伝統を築いていってほしいと思います。今年度は、「向島中六十四年の集大成と新たな年に向けて」というスローガンを掲げ、思い出に残る意義深い一年にしようと生徒や教職員が一緒になって頑張ってきました。必ずや統合新校「桜堤中学校」においてもこの「勢い」や「思い」をもって地域から愛される学校をつくってくれると信じております。

結びに、閉校を迎える今日まで温かく見守りご支援くだされた方々からのご厚情に深く感謝申し上げますと共に統合新校「桜堤中学校」にもご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十五年三月二日

墨田区立向島中学校

第十六代校長 菊本和仁